

講座イベント名	中学生里山整備体験講座
主催者（市町村）	里山むつみ隊（八千代市）
講座のねらい	中学生に対して、私たち隊員と同じ里山整備体験してもらうことにより、里山整備の意義と自然への親しみと楽しさを養ってもらうこと。
実施月日	令和元年12月14日（土）
参加人数	生徒36名、先生6名、スタッフ13名 合計55名
講座の概要	平成25年から毎年連続、今回で7回目の実施である。 1. 講義：里山むつみ隊の紹介と里山整備の意義（20分ほど） 2. 作業（2時間ほど） （1）台風による倒木を木材として利用するため、森林内の作業場まで150mほど移動、1本の丸太を生徒4人で運ぶ共同作業である。リズムを合わせないと担げない。 （2）落下した枝を収集し（長い枝はノコギリで切る）、リヤカーで集積場まで運ぶ。 （3）落葉を収集し、以前の活動で玉切り丸太を生徒が組立てたバイオネスト（カブトムシ等の幼虫の生育場所）に入れ込む。 3. 森林内を案内（30分ほど） 4. 食事とお遊び 弁当持参であるが、大きな鍋の豚汁と焼き芋で昼食、昼食後はヤマザクラに吊るした1本のロープでお遊び。 5. 合唱クラブの生徒によるお礼のクリスマスソングなどの合唱
参加者の声	代表的な声：＊作業は少しきつかったが、楽しかった。 ＊里山むつみ隊が森を守るため頑張っているのがわかった。 ＊食事が美味しかった。 ＊「ターザンごっこ」がおもしろかった。
成果と課題	1. 成果 作業すると森がきれいになることや大きな丸太も仲間と協力すれば運べることなど、達成感を感じとってもらったと思う。また、森のなかで体を動かした後のおいしい食事や遊びが楽しかったことは生涯記憶に残ると確信している。 2. 課題 マンネリ化しないよう作業内容のレパートリーを準備しておく必要がある。

＜講座の様子＞



丸太の移動



枯れ枝の収集



昼食の後はターザンごっこ